

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

Osaka National Hospital

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース
News

No. 75

令和4年3月

このニュースは、年4回、
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。
詳しいお問い合わせは
地域医療連携室までお寄せください。



目次

地域医療連携室より

- ・ 講演会のご案内 2
- ・ 新任及び退職医師のお知らせ 3

病院のトピックス

- ・ 第53回法円坂地域フォーラムが開催されました ... 4
- ・ 近畿ブロックHIV医療における
カウンセリング研修会 開催報告 6
- ・ 整形外科完全予約紹介制への変更のお知らせ... 7
- ・ Osaka Brain & Heart Conference 8
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 ... 10
- ・ NHO PRESS ～国立病院機構通信～について ... 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

地域医療連携室 令和4年3月発行 75号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] 408-comonh@mail.hosp.go.jp

～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

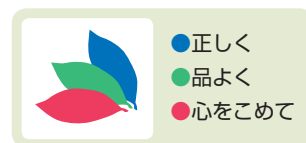
- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和4年6月11日(土)	第55回法円坂地域フォーラム	『大阪医療センターのコロナ診療の総括』 『肝硬変の消化管病変』等	医師及び医療従事者 ※開催場所： シェラトン都ホテル 大阪「大和の間」

開催場所 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅①号出口すぐ

問合せ 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

新任及び退職医師のお知らせ

新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R4.1.11	医師(小児科)	前川加奈美	育休復帰
R4.4.1	医長(口腔外科)	吉本 仁	採用
R4.4.1	医長(脳神経外科)	尾崎 友彦	昇任
R4.4.1	医師(眼科)	辻野知栄子	昇任
R4.4.1	医師(総合診療科)	勝田 充重	採用
R4.4.1	医師(感染症内科)	松村 拓朗	採用
R4.4.1	医師(血液内科)	戸田 淳	採用
R4.4.1	医師(循環器内科)	中村 雅之	採用
R4.4.1	医師(脳神経外科)	井筒 伸之	採用
R4.4.1	医師(産婦人科)	小椋 恵利	採用
R4.4.1	医師(救命救急センター)	岡本雄太郎	採用
R4.4.1	医師(放射線治療科)	藤原 慧	採用
R4.4.1	医師(臨床検査科)	藤原理恵子	採用
R4.4.1	医師(緩和ケア内科)	前倉 俊也	採用
R4.4.1	医師(糖尿病内科)	小椋 紫芳	採用
R4.4.1	医師(脳卒中内科)	山本 敦史	採用
R4.4.1	医師(外科)	河合 賢二	採用
R4.4.1	医師(耳鼻咽喉科)	田中 晶平	採用
R4.4.1	医師(整形外科)	北村小百合	採用
R4.4.1	医師(整形外科)	橋本 佳周	採用
R4.4.1	医師(整形外科)	岩佐 諒	採用
R4.4.1	医師(消化器内科)	阿部友太郎	採用
R4.4.1	医師(消化器内科)	松島 健祐	採用
R4.4.1	医師(皮膚科)	藤森なざさ	採用
R4.4.1	医師(心臓血管外科)	北原 睦識	採用
R4.4.1	医師(乳腺外科)	岡田公美子	育休復帰
R4.4.1	専攻医(糖尿病内科)	松井 俊郎	採用
R4.4.1	専攻医(糖尿病内科)	和田 直記	採用
R4.4.1	専攻医(糖尿病内科)	西浦 葵	採用
R4.4.1	専攻医(腎臓内科)	小堀 愛美	採用
R4.4.1	専攻医(腎臓内科)	窪田 卓也	採用
R4.4.1	専攻医(脳卒中内科)	小川 敦史	採用
R4.4.1	専攻医(脳卒中内科)	松下 誠貴	採用
R4.4.1	専攻医(消化器内科)	宮崎 愛理	採用
R4.4.1	専攻医(消化器内科)	原田 理史	採用
R4.4.1	専攻医(消化器内科)	上月 美穂	採用
R4.4.1	専攻医(消化器内科)	津室 悠	採用
R4.4.1	専攻医(循環器内科)	鶴飼 一穂	採用
R4.4.1	専攻医(循環器内科)	坂本 麻衣	採用
R4.4.1	専攻医(循環器内科)	南 慎哉	採用
R4.4.1	専攻医(循環器内科)	水森 祐樹	採用
R4.4.1	専攻医(循環器内科)	村岡 直哉	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	徳永 拓也	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	阿部 優	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	萩原 佳菜	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	今西 涼華	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	豊後 雅史	採用
R4.4.1	専攻医(外科)	大崎 真央	採用
R4.4.1	専攻医(整形外科)	西川 智也	採用
R4.4.1	専攻医(整形外科)	勝久 寛太	採用
R4.4.1	専攻医(脳神経外科)	川本 早希	採用
R4.4.1	専攻医(脳神経外科)	小林 弘治	採用
R4.4.1	専攻医(脳神経外科)	藤見 洋佑	採用
R4.4.1	専攻医(心臓血管外科)	田口 卓良	採用
R4.4.1	専攻医(皮膚科)	武田 学	採用
R4.4.1	専攻医(皮膚科)	藤本 雷	採用
R4.4.1	専攻医(泌尿器科)	隠岐 雄太	採用
R4.4.1	専攻医(泌尿器科)	吉岡 史江	採用
R4.4.1	専攻医(耳鼻咽喉科)	赤間 俊之	採用
R4.4.1	専攻医(眼科)	福田 達也	採用
R4.4.1	専攻医(救命救急センター)	野邊 亮丞	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	岡 晃平	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	高田 恭輔	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	玉川 裕城	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	辻西 和幸	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	猶塚 拓登	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	中江 陽彦	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	西嶋 吉継	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	瀧田 弘美	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	東 俊樹	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	山野 敏基	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	吉田 翼	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	余田 拓海	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	西 将輝	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	丹生石朱璃	採用
R4.4.1	研修医(1年目)	JUJUJUJUN WATSAPOL	採用
R4.4.1	歯科研修医(1年目)	中浴 萌	採用

退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R4.2.28	医師(下部消化管外科)	三代 雅明	退職
R4.2.28	医師(口腔外科)	藤原彩也香	退職
R4.3.31	医長(口腔外科)	有家 巧	退職
R4.3.31	医長(消化器内科)	中水流正一	退職
R4.3.31	医長(整形外科)	角永 茂樹	退職
R4.3.31	医師(糖尿病内科)	山本 裕一	退職
R4.3.31	医師(脳卒中内科)	笠倉 至言	退職
R4.3.31	医師(外科)	柳澤 公紀	退職
R4.3.31	医師(耳鼻咽喉科)	津野 武	退職
R4.3.31	医師(整形外科)	松岡由希子	退職
R4.3.31	医師(整形外科)	高嶋 和磨	退職
R4.3.31	医師(消化器内科)	石原 朗雄	退職
R4.3.31	医師(皮膚科)	池田 彩	退職
R4.3.31	医師(心臓血管外科)	三隅 祐輔	退職
R4.3.31	医師(泌尿器科)	岡 利樹	退職
R4.3.31	医師(麻酔科)	三嶋 恭子	退職
R4.3.31	医師(緩和ケア科)	青野 奈々	退職
R4.3.31	医師(放射線治療科)	窪田 光	退職
R4.3.31	専攻医(糖尿病内科)	是近 彩香	退職
R4.3.31	専攻医(糖尿病内科)	山口 大旗	退職
R4.3.31	専攻医(糖尿病内科)	岸 由衣加	退職
R4.3.31	専攻医(腎臓内科)	茂木 考友	退職
R4.3.31	専攻医(消化器内科)	清木 祐介	退職
R4.3.31	専攻医(消化器内科)	宮崎 哲郎	退職
R4.3.31	専攻医(消化器内科)	早田菜保子	退職
R4.3.31	専攻医(消化器内科)	東浦 玲意	退職
R4.3.31	専攻医(循環器内科)	大崎 慧	退職
R4.3.31	専攻医(循環器内科)	大里 和樹	退職
R4.3.31	専攻医(循環器内科)	中村 雅之	退職
R4.3.31	専攻医(外科)	原 修一郎	退職
R4.3.31	専攻医(外科)	坂野 悠	退職
R4.3.31	専攻医(外科)	有賀 沙弓	退職
R4.3.31	専攻医(外科)	佐井 佳世	退職
R4.3.31	専攻医(外科)	西原 弘貴	退職
R4.3.31	専攻医(整形外科)	北西 光介	退職
R4.3.31	専攻医(整形外科)	近藤 弘基	退職
R4.3.31	専攻医(脳神経外科)	山崎 弘輝	退職
R4.3.31	専攻医(脳神経外科)	澤田 遼奈	退職
R4.3.31	専攻医(心臓血管外科)	柿澤 佑実	退職
R4.3.31	専攻医(皮膚科)	文 省太	退職
R4.3.31	専攻医(皮膚科)	菊澤 千秋	退職
R4.3.31	専攻医(皮膚科)	来田 英伸	退職
R4.3.31	専攻医(泌尿器科)	道念はるか	退職
R4.3.31	専攻医(産婦人科)	小椋 恵利	退職
R4.3.31	専攻医(耳鼻咽喉科)	田中 晶平	退職
R4.3.31	専攻医(眼科)	佐藤 大樹	退職
R4.3.31	専攻医(放射線治療科)	為藤 節雄	退職
R4.3.31	専攻医(放射線診断科)	濱口 恭子	退職
R4.3.31	専攻医(放射線診断科)	前田 夏奈	退職
R4.3.31	専攻医(救命救急センター)	岡本雄太郎	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	赤間 俊之	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	宮崎 愛理	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	小川 和也	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	栗原 健太	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	小林 弘治	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	徳永 拓也	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	原田 理史	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	藤見 洋佑	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	松岡 春樹	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	水森 祐樹	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	村岡 直哉	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	吉村 友佑	退職
R4.3.31	研修医(2年目)	脇 貞徳	退職
R4.3.31	研修医(1年目)	川内 涼	退職
R4.3.31	研修医(1年目)	金地 真生	退職
R4.3.31	研修医(1年目)	三浦 琢幹	退職

第53回法円坂地域フォーラムが 開催されました

国立病院機構 大阪医療センター 統括診療部長 渋谷 博美

10月30日土曜日15時から、第53回法円坂地域医療フォーラムを開催いたしました。

大阪医療センターでは、地域連携の一環として開業されている先生方への講演会を法円坂地域医療フォーラムとして年3回開催しております。

この日の天気は晴れ。大阪府のCOVID-19新規感染者数は49人でした。

本来ならば、対面で多くの方にご視聴していただきたかったのですが、現状を鑑みてインターネット配信と対面とのハイブリッド開催となりました。

当日は、地域医療連携推進部長の巽啓司先生が司会進行を務め、松村泰志院長の開会挨拶で始まりしました。

第1部は、地域医療連携室長の西村洋先生が座長を務め、当院腎臓内科科長の岩谷博次先生に「腎臓病における治療の進歩～腎炎からCKDまで～」についての講演をしていただきました。

岩谷先生のお話は、原発性糸球体腎炎の中で約半数を占めるIgA腎症は、発症のピークが若年にあり、20年で約4割の透析導入率となる腎予後の悪い疾患で、その治療には、抗血小板薬やACEIなどの薬物療法のほかに、扁桃腺摘出があり、扁桃腺摘出を施行した患者さんは腎予後が良く、扁桃腺摘出とステロイドパルス療法の両方を行うと扁桃腺摘出のみ施行した患者さんよりも蛋白尿が減るといっても興味深い内容でした。そのほかCKDの患者さんは塩気を感じにくく塩分を多く摂取してしまうため、減塩がとても重要であることや糖尿病治療薬であるSGLT2阻害剤が、慢性腎臓病の新しい治療薬として注目されているという情報も教えていただきました。

第2部は、渋谷が座長を務め、当院泌尿器科の3名の医師による前立腺癌の講演でした。

まずは、泌尿器科科長の西村健作先生から「前立腺癌からみた地域連携」についての講演がありました。大阪医療センター泌尿器科における前立

第53回 法円坂 地域医療フォーラム

日 時：2021年 10月30日 (土) 15:00～17:30
開催形式：オンライン配信及び対面のハイブリッド
 ※大阪府医師会生涯教育研修指定申請中

【司会】 国立病院機構大阪医療センター 地域医療連携推進部長 **巽 啓司**

1. 開会挨拶 15:00～15:10
 国立病院機構大阪医療センター 院長 **松村 泰志**

2. 講演
第一部 15:10～16:10
【座長】 国立病院機構大阪医療センター 地域医療連携室長 **西村 洋**

「腎臓病における治療の進歩～腎炎からCKDまで～」
 国立病院機構大阪医療センター 腎臓内科 科長 **岩谷 博次**

第二部 16:20～17:20
【座長】 国立病院機構大阪医療センター 統括診療部長 **渋谷 博美**

「前立腺癌からみた地域連携」
 国立病院機構大阪医療センター 泌尿器科 科長 **西村 健作**

「前立腺癌とPSA検診」
 国立病院機構大阪医療センター 泌尿器科 **松崎 恭介**

**「当院における前立腺癌治療の現況
 ～ロボット支援下前立腺全摘除術を開始して～」**
 国立病院機構大阪医療センター 泌尿器科 **野々村 大地**

3. 閉会挨拶 17:20～17:30
 国立病院機構大阪医療センター 副院長 **三田 英治**

＜視聴申込方法は裏面をご参照ください＞

腺癌診療の3つの柱は、正確な画像診断、正確な病理組織診断（前立腺生検術）、的確な治療選択であること。前立腺癌の治療法には放射線療法、重粒子線治療、PSA監視療法そして手術があり、当院では低侵襲ロボット支援下手術（Da Vinci手術）を行っていることが紹介されました。

松崎恭介先生は「前立腺癌とPSA検診」についての講演でした。

前立腺癌は近年急激に増加している疾患で、50歳以上で罹患率は上昇し、家族歴が重要。前立腺癌の初期は無症状のためPSA（前立腺癌特異抗原）が診断に有用だそうです。基本的には進行は緩やかで治療成績は良いのですが、進行していると予後は不良となるため、前立腺癌は早期発見が重要で、50歳を過ぎたらPSA検診を受けていただきたいと力強いメッセージが発信されました。最後は、野々村大地先生から、「当院における前立腺癌治療の現況～ロボット支援下前立腺全摘除術

を開始して～」の講演がありました。

2012年4月から保険適応になったロボット支援下前立腺全摘除術は、従来の腹腔鏡手術や開腹手術と比較して、手術の精密度が高く、低侵襲で手術時間も短く、気腹圧のため出血量も非常に少ない手術です。しかし、術中頭低位による眼圧上昇や皮下気腫などや経腹膜的アプローチによる術後イレウスなどの合併症が起こりうる可能性もあるため、細心の注意を払いながらより安全な治療を行っているとのことでした。

2時間半にわたるフォーラムでしたが、多くの方に視聴していただきありがとうございました。国立病院機構大阪医療センターは、地域と連携しながら最新の技術で患者さんに寄り添う診療を行っています。

今後ともよろしくお願いたします。



近畿ブロックHIV医療における カウンセリング研修会 開催報告

国立病院機構 大阪医療センター 臨床心理室 富田 朋子



近畿ブロックHIV医療におけるカウンセリング研修会を、令和3年12月4日（土）に大阪医療センターで開催しました。

グループワークもありましたが、密にならないように十分な距離をとった中で実施しました。

コロナ禍ということもあり例年に比べて参加者は減少したものの、院外から12名の方が参加されました。

上記の研修会は平成12年以降毎年当院で開催しています。主に、HIV領域に従事する心理士を対象に、心理面接（カウンセリング）に対するスキルアップや知見を深めることを目的に、HIV感染症患者との面接事例を皆で検討する場となっています。主な参加者は心理士になりますが、毎年地域の保健師さんも数名参加されています。

研修会は、午前と午後の2部制で実施され、午前は事例提供者からの発表後、事例についてグループディスカッションを行いました。

4、5人のメンバーが密を避けるため少し離れた位置に座っていたこともあり、最初はぎこちない雰囲気もありましたが、各グループで積極的なディスカッションが行われていました。

私の参加していたグループは医療、行政、教育と各参加者の勤務環境が多岐にわたっていましたが、各職場での工夫や経験を交えた意見も聞かれ、有意義な時間となりました。

午後は、関西大学大学院心理学研究科の中田行重教授をコメンテーターとしてお招きし、事例検討会が行われました。

中田教授は発表者にとって、より有意義な時間になることを前提に事例検討会を進めてくださいました。

発表された事例は、発表者が長年にわたって真摯に患者さんと関わり続けている事例でした。

心理面接は1回の面接は50分前後で行われることが多く、発表事例も1回50分の面接が毎週の頻度で継続されていました。

発表者はそれらの十分な時間をうまく活用し、患者さんのペースや気持ちを尊重しつつ、時には患者さんとぶつかりながら心理面接を行う過程は、一参加者として心理士の原点を見つめ直すような貴重な時間となりました。

コロナ禍での開催であり開催前は不安もありましたが、対面ならではの良さを十分に味わえた研修会となりました。



整形外科完全予約紹介制への 変更のお知らせ

国立病院機構 大阪医療センター 整形外科科長 三木 秀宣

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。昨今、地域の病院・診療所受診からの紹介予約なく当日受診される患者様が多く、当科診療業務を圧迫しております。

つきましては、令和4年4月1日より以下のように整形外科に限り完全予約紹介制に変更させていただきますので、ご理解のほどよろしく願申し上げます。（詳しくは当科ホームページ：外来案内をご参照ください。）

「初診」従前どおり当院地域医療連携室（TEL：06-6946-3516（直通）、FAX：06-6946-3517（直通））にて紹介状の送付とご予約をお願いいたします。（一部のドクターは当院ホームページからインターネット予約可能です。）

注1：ご予約のない患者様につきましては、紹介状がありましても来院当日の診察は不可となりますので、必ずご予約をお願い致します。

注2：精査、手術適応相談、手術目的に特化しており通院保存治療は行っておりません。整形外科以外の医療機関様でこれらのご判断がつかない場合（特に腰痛、肩痛、頸部痛、打撲、捻挫等）は、まず近隣の整形外科クリニック等への受診を勧めていただきますようお願い申し上げます。

「再診」当科定期受診中の患者様で、骨折等にて緊急に受診させる必要のある場合にはその旨地域医療連携室にご連絡ください（時間外は当院救急外来へご連絡ください）。

敬具

令和4年3月吉日

Osaka Brain & Heart Conference



日時：2022年 **4月21日**（木）**19:00～20:20**

場所：ANAクラウンプラザホテル大阪 4階【平安】

〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-3-1 電話:06-6347-1112

【WEB参加用】

https://bayer.zoom.us/webinar/register/WN_ZJcgDORiQGSDtnIWkdcMbw



座長：松村 泰志 先生 国立病院機構 大阪医療センター 院長

特別講演
1

19:00-19:40 (40分)

「脳梗塞の急性期治療と再発予防 Up To Date」

演者：山上 宏 先生 国立病院機構 大阪医療センター 脳卒中内科 科長

特別講演
2

19:40-20:20 (40分)

「高齢者における心不全診療を再考する」

演者：坂田 泰史 先生 大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授

※当日会場ではお弁当をご用意しております。ご施設様の規則に従ってお召し上がりください。
※本講演会にご参加に伴い弊社が旅費を負担する場合には、弊社規定に則り手配をさせていただきます。
※本講演会にかかわる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害する行為およびデータの撮影、録音、録画を固く禁じます。
※大阪府医師会 生涯研修単位申請予定
※ご回答いただいた個人情報については本講演会の運営・管理および生涯教育単位認定に使用し、これら以外の目的には使用致しません。
個人情報及び参加者記録は大阪府医師会と共有されますのでご了承ください。

MTG22-00319830-20220208

主催：バイエル薬品株式会社
PP-XAR-JP-2809-06-08

バイエル薬品 Zoom ウェビナー 参加方法

PCからのご参加

スマートデバイスからのご参加

1 参加登録用URLより参加登録

以下の情報を入力し、登録をタップ。
 ・お名前（漢字） ・メールアドレス ・施設名（漢字）

※事前アンケート入力項目がある際は、アンケートのご回答をお願い致します。

ご登録完了後、視聴用URLが記載された メールが自動送信されますので、講演会 当日まで大切に保存願います。

注意
 登録後、メールが届かない方は迷惑メールにないかご確認いただくか、「@zoom.us」からメール受信可能な設定を確認の上、再登録をお願いします。

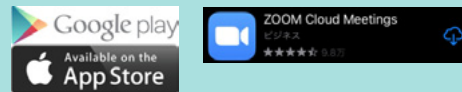
2 Zoom アプリをダウンロード

以下のページより、アプリをダウンロードをお願いします。
<https://zoom.us/download>



2 Zoom Cloud Meetingsアプリをダウンロード

App Store, Google Playよりダウンロードをお願いします。



3 視聴環境の事前チェック

以下のページより、事前にマイク/スピーカーのテストが可能です。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>

推奨視聴環境

- ・Mac
OS 10.7以上(最新版)またはMac OS X
ブラウザ推奨:Safari5以降、Firefox、Chrome
- ・Windows
Windows 10/Windows 8/8.1
ブラウザ推奨:Windows IE7以降、Firefox、Chrome、Safari5以降
- ・iPad
iPadOS 13以降
- ・スマートフォン
iOS 9.0以降
Android 5.0以降

[推奨通信環境] ダウンロードおよびアップロードの速度が、6Mbps以上で安定してご視聴頂けます。2Mbps以下の場合、映像や音声が乱れる場合がございます。

4 当日の参加方法

ご登録完了後のメール内「ここをクリックして参加」をクリック。

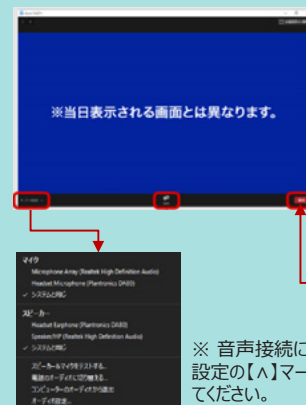
PC、Mac、iPad、iPhone、Androidデバイスから参加できます：
[ここをクリックして参加](#)
 注:このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。

このページをZoomで開きますか?と表示されたら【開く】をクリックすると、Zoom アプリケーションが起動し、ウェビナーに接続します。



会議がまだ開始されていない場合は、左記のように表示されます。主催者がウェビナーを開始するまでしばらくそのままお待ち下さい。

ウェビナーが開始されると、Zoomが起動し画面が表示されます



※ 音声が聞こえない場合はPC本体の音量及びオーディオ設定をご確認下さい。

※ 講演終了後は画面右下の【退出】ボタンをクリックして終了して下さい

※ 音声接続に不備がある場合はオーディオ設定の【A】マークをクリックし、調整を試してみてください。



ご不明な点がございましたら弊社担当者までご連絡をお願い申し上げます。

脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内

当院では、主に救急隊からの脳卒中・循環器疾患による患者搬送を受け入れできるよう、脳卒中・循環器ホットラインを設置しておりますが、本ホットラインは救急隊からの要請に限定したのではなく、広く各医療機関様からのご連絡も24時間お受けできる体制を取っています。

貴院かかりつけ患者様あるいは救急搬送された患者様で、脳卒中・心臓・大血管疾患の急変等が起こった際の搬送先として、当院のホットラインをぜひご活用ください。



独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL: 06-6942-1331 (代)

循環器ホットライン

06-6946-3544

循環器疾患24時間対応します。

脳卒中ホットライン

06-6946-3543

脳血管疾患24時間対応します。

医師及び消防局救急隊からの電話に限ります。

NHO PRESS ~国立病院機構通信~について

大阪医療センターは、国立病院機構（NHO: National Hospital Organization）という141の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS~国立病院機構通信~』を発行しています。

ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、ぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。



NHO PRESS

検索

QRコード



大阪医療センター

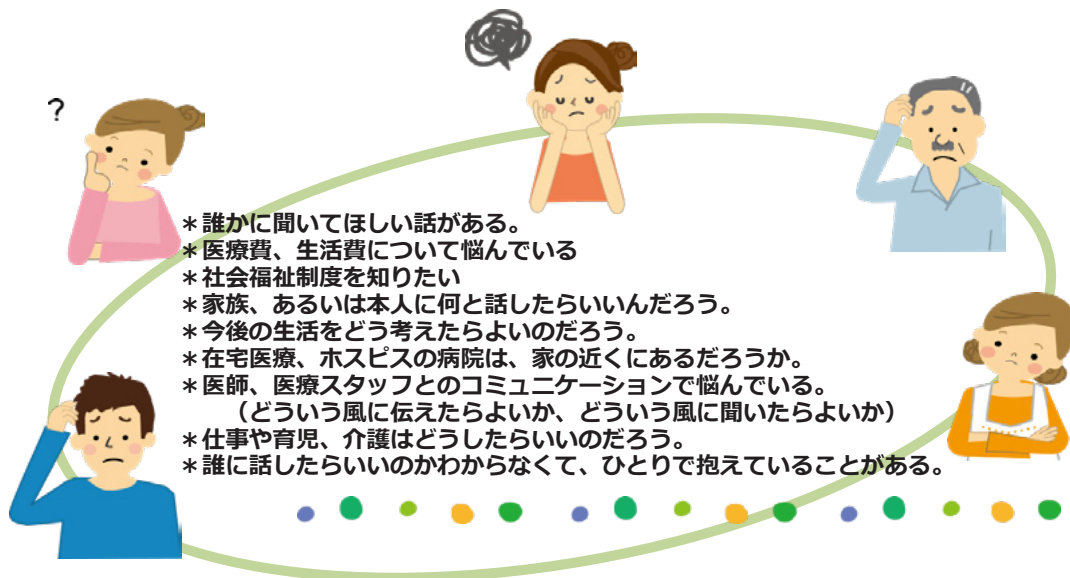
がん相談支援センター

のご案内



患者さん・ご家族の皆さまが、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えます。
お気軽にご利用ください。

相談料は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。
* ご入院中の方は、ご希望により、病室までお伺いいたします。



相談にあたっては、患者さんやご家族のお考えやお気持ちを尊重し、できるだけみなさまご自身で問題の解決を図れるよう支援をいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 9:00～16:00
外来休診日はお休みです

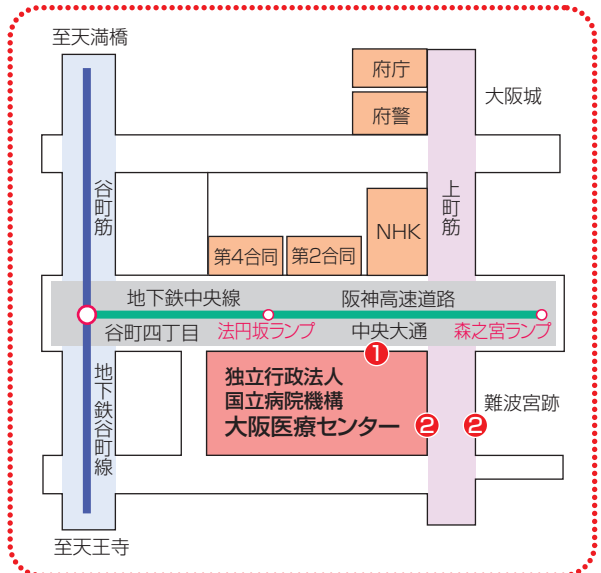
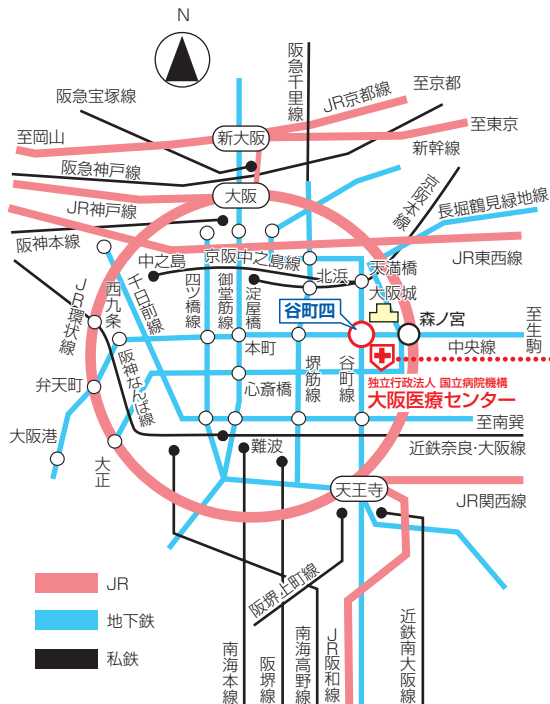
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も
やってます



交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。